



# 幼稚園・保育所・ 認定こども園等 利用ガイド

令和3年度 入園・入所希望の方向け



## 目次

1. どのような施設があるの？ P1

2. 幼稚園・保育所などに入るには？ P3

3. どうやって申し込むの？ P5

4. 入園・入所手続きのスケジュール P7



5. どのような書類が届くの？ P8

6. 保育料の無償化対象 早見表 P9

7. 充実した子育てサポート P13



# 4.入園・入所手続きのスケジュール

令和3年 4月～		令和2年 申込時期				申込先
		9月	10月	11月	12月	
幼稚園	私立	願書配布: 9/1～	願書受付: 10/1～			希望する施設 にて申込みを 受け付けます <small>※詳細は各施設へ お問い合わせください</small>
	公立		申込書配布 10月中旬	申込書受付 10月下旬		
認定こども園	朝～昼すぎ	願書配布: 9/1～	願書受付: 10/1～			施設がある区の 区役所・支所にて 申込みを 受け付けます★下記参照  
	朝～夕		申込書配布: 9/18～	申込書受付: 10/19～11/30		
保育所			申込書配布: 9/18～	申込書受付: 10/19～11/30		
保育地域型			申込書配布: 9/18～	申込書受付: 10/19～11/30		

## 乳幼児にとって「遊び」こそが大切な「学び」

世の中が大きく変化する時代、「子どもたちがたくましく幸せに生きていってほしい」というのは、私たち大人の願いですね。乳幼児期の教育・保育では、子どもたちが現在（いま）を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、大いに「遊ぶ」ことを大切にしています。



子どもたちの大好きな鬼ごっこ。一生懸命走りながら「腕を振ったら早く走れるかも」「急には止まれない」と体を動かすためのいろいろなことに気づき（①知識や技能の基礎）、「どちらに逃げたらいい？」「○○ちゃんなら捕まえられそう」と様々なことを考えます（②思考力、判断力、表現力などの基礎）。そして、遊びを続けるために、我慢することや主張すること、譲ることを知り、友だちと過ごす楽しさを知ります（③学びに向かう力、人間性など）。

乳幼児にとっては、「遊び」こそが、この時期にふさわしい「学び」なのです。  
神戸市の各園では、さまざまな「遊び」を通した取り組みを実践しています。

※①～③は乳幼児期の教育・保育で身に付けてほしいとされる3つの資質能力であり、小学校～高等学校までの学習指導要領においても中心とされているものです。



## 乳幼児期の教育・保育について

「乳幼児期における教育・保育」は、子どもの自由さを基盤とした自発的かつ主体的な活動である「遊び」から得た様々な経験を通じて生きる力の基礎を培うことを目的としています。「遊び」こそが、この時期の「学び」であり「学習」なのです。

そして、「遊び」が、この時期の成長にふさわしい「学び」を獲得するのに最も効果的な活動だということは、世界中の共通認識であり、当然日本においても、乳幼児期は「遊び」が「学習」であるということ、そして、「乳幼児期の教育・保育」は、“「遊び」を通しての指導を中心に行う”こと、とされています。

親の願いは、我が子が一生幸せでいてほしいというものです。そのためにどういう教育を、どういう習い事を、と悩まれていることでしょうか。これからの時代をどのように生きていってほしいのか、それを考えることが「乳幼児期における教育・保育」を考えることにつながります。

今や、感染症や災害など、どのような困難が起こるかわからない時代です。神戸市においても、阪神淡路大震災という未曾有の経験があります。一方でAIやIoT等のデジタル革新において、今ある仕事のほとんどがコンピューターに奪われてしまう未来がやってくるともいわれています。ここ数年でも世の中は大きく変化し、想像もしなかった時代が訪れています。これからの「乳幼児期における教育・保育」を考える上では、この予測不可能な時代に子どもたちにどのような力を培えば、幸せに生きていくことができるのか？ということがとても大切な視点です。

どのような困難な時代でも、前向きな喜びを見出し、生まれてきてよかったと思える人、例えば大きな災害があっても、人に助けを求め、人を助けることに喜びを見出せる人、自分の欠点も知りつつ、自分は結構いいやつだと思えて、周りの人の良さを認めることができ、人とつながることを喜べる人、そうやって笑顔で生き抜いていける人にこそ育ってほしいと思いませんか？私たちは、「予想外の事態を乗り越えながら、自らの人生を切り拓き、より良い社会づくりに貢献していくことができる人」を育みたいと考えています。

そのように生きていくための「生きる力の基礎」を子どもたちが身につけるために、日本の「乳幼児期における教育・保育」の中では育みたい資質・能力として、以下の3つのことがあげられています。

- ① 「知識及び技能の基礎」
- ② 「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ③ 「学びに向かう力・人間性等」

この3つの資質・能力を「遊び」を通して身につけられるように、日々取り組みを行っています。

簡単な例をあげると、友だちと鬼ごっこをしながら、走り方などの①を身につけ、どう逃げたらいいのか、右に行くか、左に行くか、止まるかなどを考えながら②を身につけ、鬼に

なってしまってもなれなくても、思うようにならないことを我慢して、遊び続けたら楽しかったり、友だちと協力し合ったり、友だちの良さや自分の良さに気づくことを通して③を身につけていきます。

日常の乳幼児教育・保育の現場で、「遊び」の中から、このような資質・能力が総合的に育まれている子どもたちの姿をご覧いただき、一生幸せに生きるための「乳幼児期における教育・保育」とは何かをご理解いただければ、と考えています。